# 県央消防指令センター運用開始

## スマホ使った映像通報システムなど導入

萩市と山口市、防府市が共同で運用する「山口県央消防指令センター」が、10月30日から本運用を開始した。

このセンター整備は、災害対応力の向上、組織体制の強化、経費の削減が目的。今年3月に竣工した山口市役所本庁舎の5階に整備された。整備費用は約38億円。各市がそれぞれ整備するより14億2000万円の経費節減になったという。また、3市がそれぞれ行っていた指令業務を一元化することで、応援要請や応援出動が迅速になると期待される。

管轄エリアの人口は約34万人。これまでの実績から年間2万9000件の119番通報があると予測されている。これに対応するため、各市から派遣される職員が21人体制で勤務。最新のシステムを駆使して任務にあたる。実際に出動する消防車や救急車は、これまで通り最寄りの消防署や出張所の部隊なので到着が遅れることはない。

新システムのひとつ「L-ive119」は、通報者のスマートフォンを使って現場の状況を確認するしくみ。専用のアプリは必要なく、センターからの指示に従ってスマホを操作することで、的確な対応が可能になる。

岡田豊昭センター長は「火事や救助などで消防車・救急車が必要な場合、落ち着いて119番通報してください」と呼び掛けている。

# まち歩き情報番組 Smile

マップを片手にまち歩きをするSmile。いつもはNPO法人萩まちじゅう博物館が中心となって作成した「まち歩きマップ」に沿って散策しているが、今回も先月に引き続き山口県観光連盟が作成したクーポン付冊子「山口ふくだるま開運さんぽ」を頼りに歩く。

この冊子には、県内全市町と島根県津和野町合わせて20エリアの絶景や体験、グルメスポットが紹介されている。今回巡ったのは、萩市のお隣り長門市のエリア。市内5カ所の掲載スポットでプレートに書かれたキーワードを探す。棚田の花段(はなだん)や千畳敷、王子山公園など風光明媚なスポットがずらり。マップには、エリア内のオススメショップ情報も掲載されている。

## ■山口ふくだるま開運さんぽ

発行:一般社団法人山口観光連盟　☎080-2949-5568(タウン情報トライアングル内)

20市町の各コースを制覇すると合計100名にプレゼントが当たるほか、食事や入浴の割引が受けられるお得なクーポンもついている。冊子は、道の駅など県内各地で配布中。設置場所の情報や参加方法など、詳細は公式ホームページ(https://kaiun-sanpo.com/)または山口県観光サイト(https://yamaguchi-tourism.jp/)に掲載されている。

まち歩き情報番組 Smile

月曜～日曜
正午～ほか放送中